

こみね こどものほん

# つきみそうがさいたよ

おお いし まこと ふち かみ あき ひろ  
大石 真 さく 瀬上昭廣 え



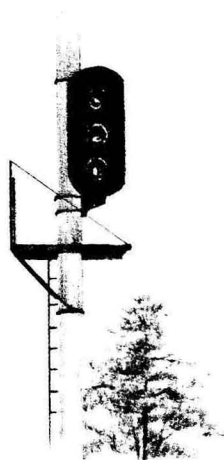
大石 真

つきみそうがさいたよ

小峰書店 昭和49 1974年

55P 23cm 〇こみね こどものほん 4

基本カラー記載例



こみね こどものほん / 4

つきみそうがさいたよ

昭和49年 3月30日 第1刷発行

著者 おお いし まこと  
大石 真画家 ふち みち あき ひろ  
淵上 昭廣

発行者 小峰 広恵

発行所 株式会社 小峰書店

東京都新宿区舟町6 郵便番号160

振替 東京195544 TEL (357)3521

表紙印 会 齋 藤 印刷 所

本文印刷 会 齋 藤 印刷 所

写 植 株式会社 上 田 美 術

製 本 所 小高製本工業株式会社

・乱丁本はお取りかえします 8793-5704-2349  
©1974 M. OISHI, A. HUCHIGAMI

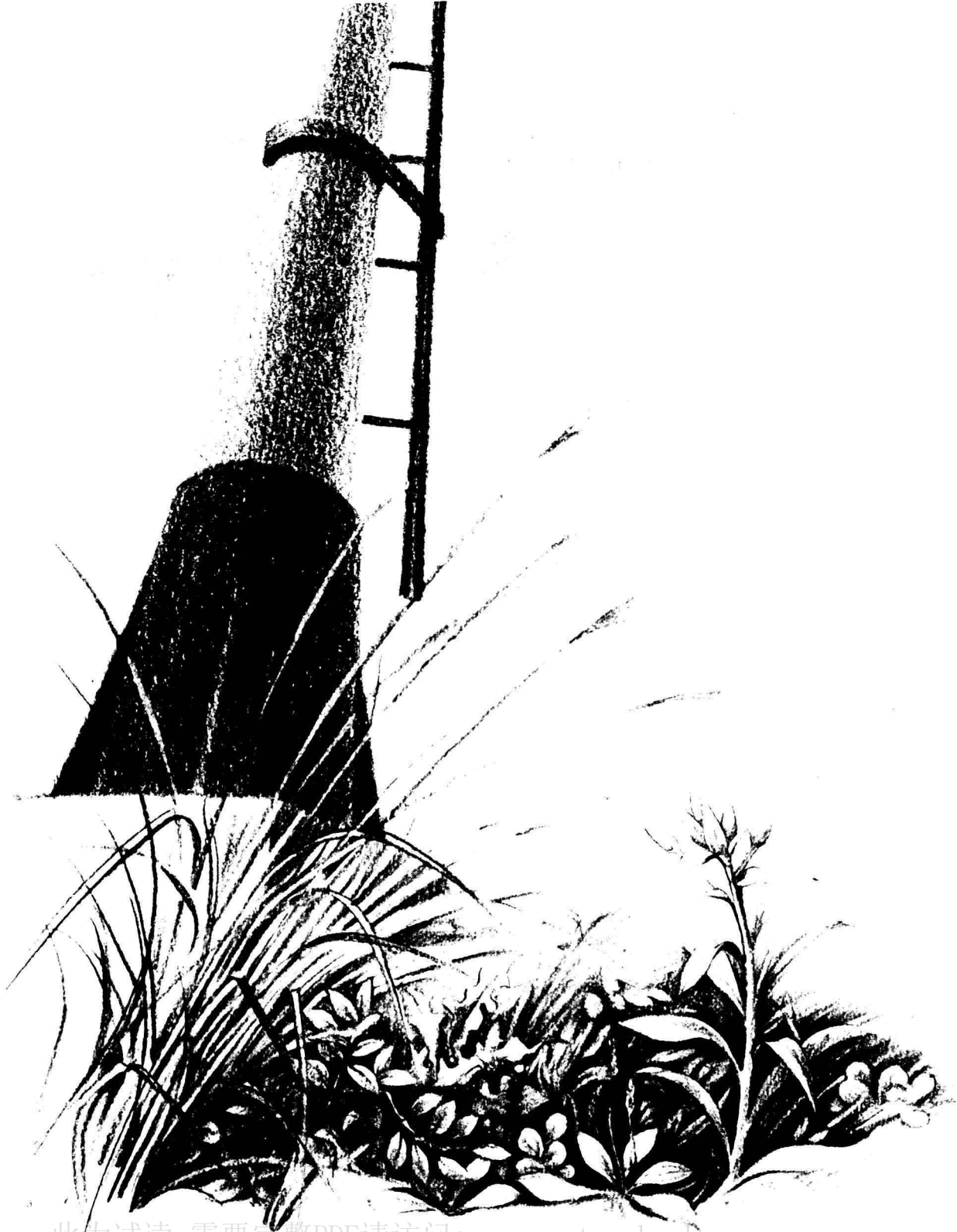
# つきみそうがさいたよ

おお いし まこと ふち がみ あき ひろ  
大石 真 さく 淵上昭廣 え



うまれて はじめて、その のっぽの  
木を みたとき、つきみそうは、  
おどろいて しまいました。

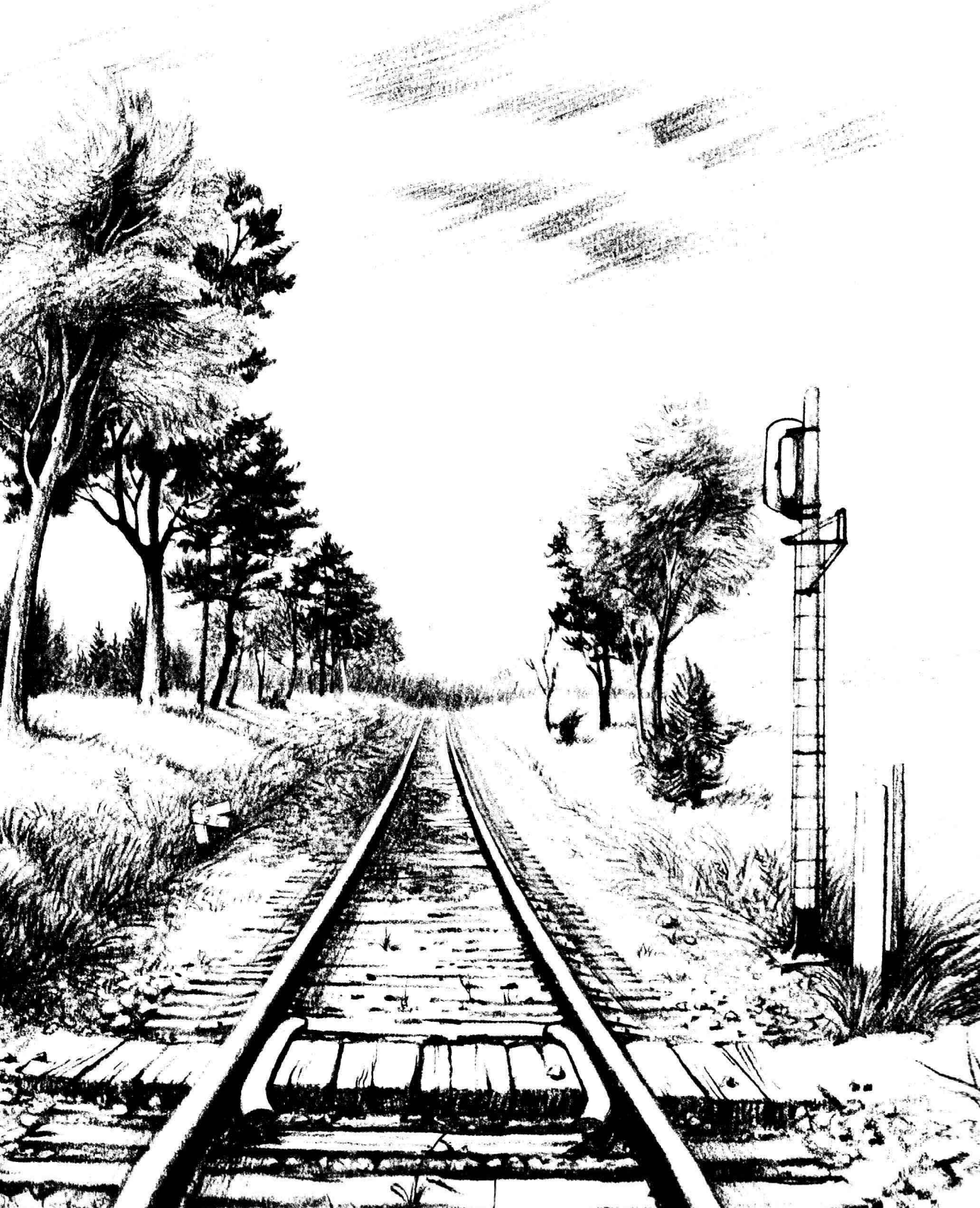
その 木は、じぶんの まわりの  
木や くさとは、ずいぶん  
ちがっていました。



みわたすと、どの木<sup>き</sup>だって、くさだって、  
あおい はっぱを、からだに  
つけていました。

かぜが ふくと——それが どんな  
ちよっぱりの かぜでも——みんな、  
その はっぱを みせびらかすように、  
さわさわ ならして みせるのでした。







ところが、その のっぱの 木<sup>き</sup>は、  
そんな はっぱなんて、なにひとつ  
つけていませんでした。

おまけに、ほかの 木<sup>き</sup>と ちがって、  
えだだって ありません。

ただ、ちゃんと まっすぐに  
つつたっていて、あたまの いちばん  
てっぺんに、かざりの ようなものが、  
ついているだけでした。



「あの木は、なんという 木でしょう？」

つきみそうは、もう ふしぎで たまらなくなつて、  
おもわず、となりの すすきに たずねました。

とたんに、まわりから、くすくす わらいごえが  
きこえました。木や くさたちの わらいごえでした。

「えっ、どうしたの。なにが おかしいの。」

つきみそうは、びっくりして ききかえました。



すると、すすきが、からだに にあわない、ふとい  
こえで いいました。

「ばかだなあ。あれは 木<sup>き</sup>じゃないよ。しんごうだよ。」

「しんごう?」

「そうさ、しんごうさ。」

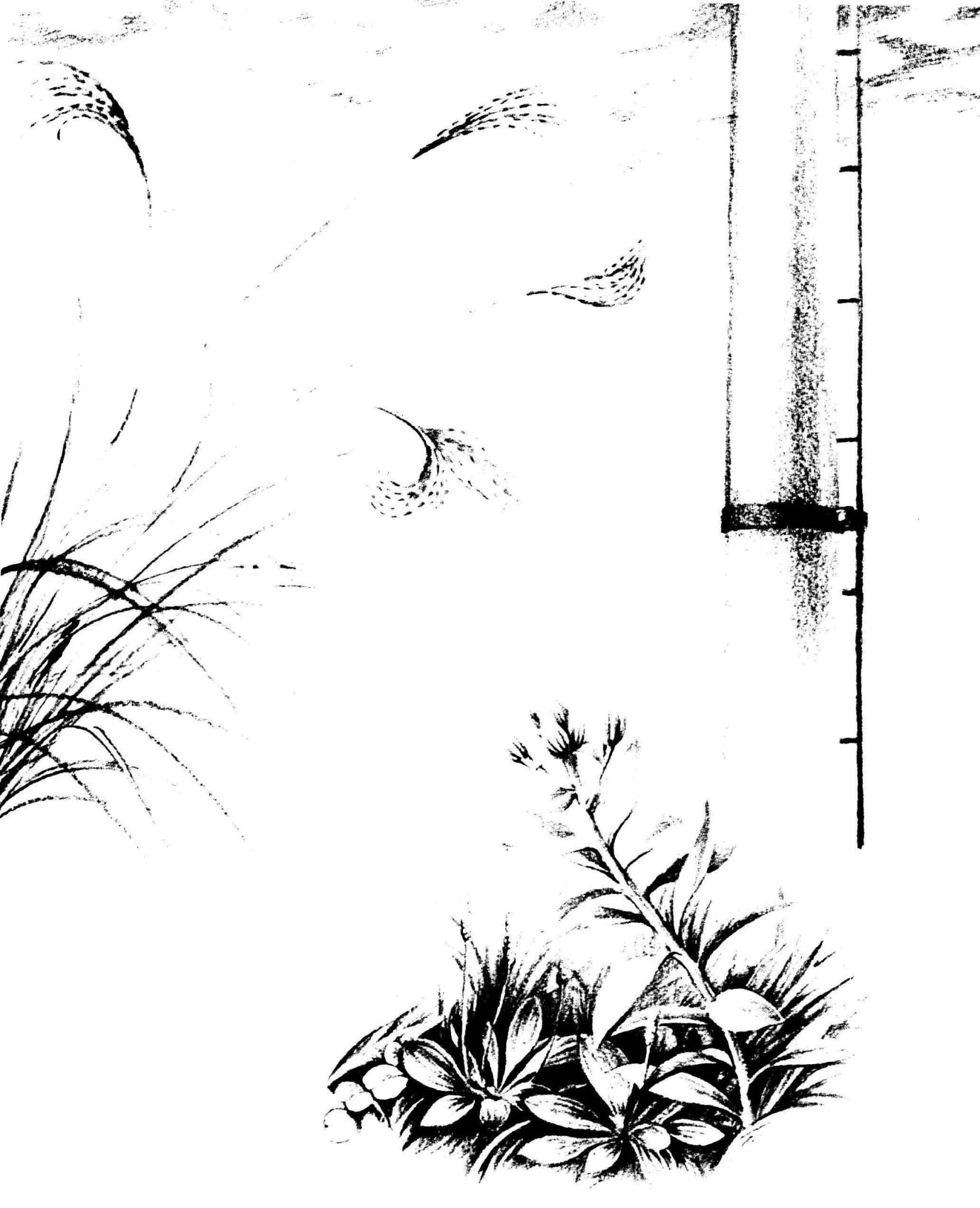
「しんごうって なあに。」

すると、もう、すすきは なにも いわずに、

だまってしまいました。しばらくして いいました。

「まあ、よるに なってから、よく みてごらんよ。」

それは きれいなもんだから……。」



つきみそうは、もっと、すすきに　いろいろ  
きいてみたいと　おもいました。

でも、すすきは　それいじょう、なにも  
はなしたくは　ないようでした。それで、  
つきみそうも　だまって　しまいました。

くさも　木<sup>き</sup>も　そうですが、みんな

おしゃべりするよりも、だまっているほうが  
すきなのです。

